

まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 3 日（土） 13：58～15：43

場 所：緑丘公民館

出席者：6 人

1. 開会
2. 町長挨拶
※資料確認
3. 説明事項
(1) 栗山町第 6 次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）
4. 懇談
(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）
※自由懇談・質疑応答
5. 閉会

《懇談会内容》

質疑：日赤の年間収支は赤字なのか。

福祉課：平成 29 年度は町からの補助 1 億円を含めると、黒字となっている。現在の累積赤字は 30 億円程度である。

意見：日赤の維持に係る経費が町の負担になり続けるのであれば、建て替えは難しいのではないのか。補強で対応できないのか。

福祉課：現状、補強での対応は難しい。建て替えは財源を含め日赤と協議を行う。

質疑：介護福祉学校の卒業生に就職先の斡旋はないのか。また、介護職の待遇を町で改善するなどできないのか。

教育長：卒業生は、ほぼ希望通り就職できている。

町長：国からは、なぜ栗山町が赤字を出しながら運営を続けているのかといった指摘もある。空知など広域で連携して、参加する自治体から負担金を集めるなどの運営方法も検討できる。

意見：介護福祉学校生に外国からの生徒を採ってはどうか。

町長：来年度 3 人の受け入れを予定している。

意見：緑丘の農家では外国人就労者を入れていない。就労者の確保はメリーワークで紹介をしているが、メリーワークに頼むと人件費などが高い。

町長：雨煙別地区のまちづくり懇談会で外国人労働者起用の研究をしてはどうかという話も出た。

質疑：台風や地震によるライフラインなどへの被害はどうなっているか。

総務課：倒木、ハウス被害、道路陥没、のり面の亀裂などの被害が確認されている。

意見：停電時用に合併浄化槽に蓄電池のようなものがあると便利だと思う。